

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	新潟大学
連携大学名	
事業名	実践的災害医療ロジスティクス専門家の養成

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	1) 人的・物的供給体制を確立するための災害医療ロジスティクス(後方支援・業務調整) 専門家を養成するための系統的学習モデルプログラムを確立(セミナー50時間、e-learning70時間) 2) モデルプログラムによる履修証明プログラム修了者(最終年度には年間14名)および、大学院修士課程修了者(年間1名)の輩出 3) 全国の災害医療ロジスティクス教育に活用・共有できるe-learningライブラリの整備 1)~3)の事業、災害医療ロジスティクス教育モデルの整備と発信、人材育成を通じて、実災害において我が国全体の災害医療ロジスティクスの人材基盤の強化、最終的には災害関連健康被害の減少を目標とする。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

	H30年度	H31(2019)年度	2020年度	2021年度	2022年度	
インプット・プロセス(投入、入力、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>キックオフセミナー開催による事業内容の周知・広報60名募集</li> <li>大学院修士課程H31年4月生募集開始1名</li> <li>事務補助員雇用1名</li> <li>日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催24名募集</li> <li>日本災害医学会BHELPコース開催24名募集</li> <li>資格認定コースにPhDLS24名、BHELP24名、EMIS16名を募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専任教員(准教授1、助教1)配置</li> <li>災害ロジスティクスの実践演習(EMIS)16名募集</li> <li>心理的応急処置(PFA)講習会開催20名募集</li> <li>人道 &amp; 緊急支援の国際基準トレーニング開催20名募集</li> <li>災害リハビリテーション研修会開催20名募集</li> <li>災害ロジスティクスの実践演習(嚙下りハビリの体制整備)20名募集</li> <li>日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名募集</li> <li>災害歯科ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>災害ロジスティクスの実践演習(SCU)20名募集</li> <li>災害薬事ロジスティクス研修会開催(物流と連携)20名募集</li> <li>避難所における食と栄養の研修会開催20名募集</li> <li>災害医療通信技能研修会(ベーシックコース)開催20名募集</li> <li>日本災害医学会BHELPコース開催36名募集</li> <li>履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師2名、看護師3名、その他職種1名を募集</li> <li>大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名募集</li> <li>資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害ロジスティクスの実践演習(EMIS)16名募集</li> <li>心理的応急処置講習会開催20名募集</li> <li>人道 &amp; 緊急支援の国際基準トレーニング開催20名募集</li> <li>災害リハビリテーション研修会開催20名募集</li> <li>災害ロジスティクスの実践演習(嚙下りハビリの体制整備)20名募集</li> <li>日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名募集</li> <li>災害歯科ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>災害薬事ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>避難所における食と栄養の研修会開催20名募集</li> <li>災害医療通信技能研修会(ベーシックコース・アドバンスドコース)開催20名募集</li> <li>履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を募集</li> <li>大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名募集</li> <li>資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的応急処置(PFA)講習会開催20名募集</li> <li>人道 &amp; 緊急支援の国際基準トレーニング開催20名募集</li> <li>災害リハビリテーション研修会開催20名募集</li> <li>日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名募集</li> <li>災害医療ロジスティクスシンポジウムin新潟開催30名募集</li> <li>災害歯科ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>災害薬事ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>避難所における食と栄養の研修会開催20名募集</li> <li>災害医療通信技能研修会(ベーシックコース・アドバンスドコース)開催20名募集</li> <li>履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を募集</li> <li>大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名募集</li> <li>資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心理的応急処置(PFA)講習会開催20名募集</li> <li>人道 &amp; 緊急支援の国際基準トレーニング開催20名募集</li> <li>プログラム評価委員会評価に関する運営委員会1回開催</li> <li>災害リハビリテーション研修会開催20名募集</li> <li>日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名募集</li> <li>災害医療ロジスティクスシンポジウムin新潟開催30名募集</li> <li>災害歯科ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>災害薬事ロジスティクス研修会開催20名募集</li> <li>避難所における食と栄養の研修会開催20名募集</li> <li>災害医療通信技能研修会(ベーシックコース・アドバンスドコース)開催20名募集</li> <li>履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を募集</li> <li>大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名募集</li> <li>資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を募集</li> </ul>
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部評価委員会の設置・人選・依頼</li> <li>e-learningシステム整備</li> <li>新規履修証明プログラム開始の学内手続き</li> <li>授業項目の策定</li> <li>e-learning作成の依頼(外部講師について)</li> <li>本事業に関するHP内容の検討と作成</li> <li>講義・セミナー内容充実のための情報収集実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学院修士課程(災害医療ロジスティクス)開始</li> <li>講師へのコンテンツ作成依頼およびコンテンツのe-learning化</li> <li>コンテンツのe-learning化</li> <li>コンテンツのe-learning化</li> <li>コンテンツのe-learning化</li> <li>履修証明プログラム「災害医療ロジスティクス専門家コース」開講</li> <li>事業HPの更新→事業の周知・広報</li> <li>講義・セミナー内容充実のための情報収集実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師へのコンテンツ作成依頼およびコンテンツのe-learning化</li> <li>教育プログラム(e-learning)の履修科目を継続</li> <li>事業HPの更新→事業の周知・広報</li> <li>講義・セミナー内容充実のための情報収集実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師へのコンテンツ作成依頼およびコンテンツのe-learning化</li> <li>プログラム評価委員会に関する運営委員会(中間評価を受けて)</li> <li>教育プログラム(e-learning)の履修科目を継続</li> <li>事業HPの更新→事業の周知・広報</li> <li>e-learningコンテンツの改定(必要に応じて最新のデータ等への修正など)</li> <li>講義・セミナー内容充実のための情報収集実施</li> <li>ライブラリ配信環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師へのコンテンツ作成依頼およびコンテンツのe-learning化</li> <li>教育プログラム(e-learning)の履修科目を継続</li> <li>事業HPの更新→事業の周知・広報</li> <li>e-learningコンテンツの改定(必要に応じて最新のデータ等への修正など)</li> <li>講義・セミナー内容充実のための情報収集実施</li> </ul>

アウトプット (結果、出力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キックオフセミナー60名の参加</li> <li>・大学院修士課程1名内定(H31年4月生)</li> <li>・事務補佐員1名雇用</li> <li>・日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催24名の参加</li> <li>・日本災害医学会BHELPコース開催24名の参加</li> <li>・資格認定コースにPhDLS24名、BHELP24名、EMIS16名を受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員(准教授1、助教1)配置</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(EMIS)16名の参加</li> <li>・心理的応急処置(PFA)講習会開催20名の参加</li> <li>・人道&amp;緊急支援の国際基準トレーニング開催20名の参加</li> <li>・災害リハビリテーション研修会開催20名の参加</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(避難所アセスメント)20名の参加</li> <li>・日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名の参加</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(災害歯科)20名の参加</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(災害薬事)20名の参加</li> <li>・避難所における食と栄養の研修会開催20名の参加</li> <li>・災害医療通信技能研修会(ベーシックコース)開催20名の参加</li> <li>・日本災害医学会BHELPコース開催36名の参加</li> <li>・履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種1名を受入</li> <li>・大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名を受入</li> <li>・資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(EMIS)16名の参加</li> <li>・心理的応急処置講習会開催20名参加</li> <li>・人道&amp;緊急支援の国際基準トレーニング開催20名の参加</li> <li>・災害リハビリテーション研修会開催20名の参加</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(嚙下りハビリの体制整備)20名の参加</li> <li>・日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名の参加</li> <li>・災害歯科ロジスティクス研修会開催20名の参加</li> <li>・災害ロジスティクスの実践演習(SCU)20名の参加</li> <li>・災害薬事ロジスティクス研修会開催(物流と連携)20名の参加</li> <li>・避難所における食と栄養の研修会開催20名の参加</li> <li>・災害医療通信技能研修会(アドバンスドコース)開催20名の参加</li> <li>・日本災害医学会BHELPコース開催36名の参加</li> <li>・履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を受入</li> <li>・大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名を受入</li> <li>・資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を受入</li> <li>・大学院修士課程1名修了</li> <li>・履修生8名(医師1名、歯科医師1名、薬剤師2名、看護師3名、その他職種1名)修了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的応急処置(PFA)講習会開催20名の参加</li> <li>・人道&amp;緊急支援の国際基準トレーニング開催20名の参加</li> <li>・災害リハビリテーション研修会開催20名の参加</li> <li>・日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名の参加</li> <li>・災害医療ロジスティクスシンポジウムin新潟開催30名の参加</li> <li>・災害歯科ロジスティクス研修会開催20名の参加</li> <li>・災害薬事ロジスティクス研修会開催20名の参加</li> <li>・避難所における食と栄養の研修会開催20名の参加</li> <li>・災害医療通信技能研修会(ベーシックコース・アドバンスドコース)開催20名の参加</li> <li>・履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を受入</li> <li>・大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名を受入</li> <li>・資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を受入</li> <li>・大学院修士課程1名修了</li> <li>・履修生8名(医師1名、歯科医師1名、薬剤師2名、看護師3名、その他職種1名)修了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心理的応急処置(PFA)講習会開催20名の参加</li> <li>・人道&amp;緊急支援の国際基準トレーニング開催20名の参加</li> <li>・プログラム評価委員会評価に関する運営委員会1回開催</li> <li>・災害リハビリテーション研修会開催20名の参加</li> <li>・日本災害医学会PhDLS(災害薬事)コース開催36名の参加</li> <li>・災害医療ロジスティクスシンポジウムin新潟開催30名の参加</li> <li>・災害歯科ロジスティクス研修会開催20名の参加</li> <li>・災害薬事ロジスティクス研修会開催20名の参加</li> <li>・避難所における食と栄養の研修会開催20名の参加</li> <li>・災害医療通信技能研修会(ベーシックコース・アドバンスドコース)開催20名の参加</li> <li>・日本災害医学会BHELPコース開催36名の参加</li> <li>・履修証明プログラムコースに医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名を受入</li> <li>・大学院医歯学専攻修士課程コースに歯科医師・薬剤師・看護師・その他職種から1名を受入</li> <li>・資格認定コースにPhDLS36名、BHELP36名、災害ロジスティクス研修20名、EMIS16名を受入</li> <li>・大学院修士課程1名修了</li> <li>・履修生14名(医師1名、歯科医師1名、薬剤師3名、看護師4名、その他職種5名)修了</li> </ul>
定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催研修会後のアンケート調査集積・分析→講義・セミナー内容の修正</li> <li>・キックオフセミナーにおける建設的意見の集約</li> <li>・本事業HPの公開</li> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価委員会による外部評価の評価(H30年度末までの事業について)</li> <li>・開催研修会後のアンケート調査集積・分析→講義・セミナー内容の修正</li> <li>・e-learning配信開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価委員会による外部評価の評価(H31年度末までの事業について)</li> <li>・開催研修会後のアンケート調査集積・分析→講義・セミナー内容の修正</li> <li>・e-learning配信継続</li> <li>・ライブラリー配信開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価委員会による外部評価の評価(H32年度末までの事業について)</li> <li>・開催研修会後のアンケート調査集積・分析→講義・セミナー内容の修正</li> <li>・e-learning配信継続</li> <li>・ライブラリー配信開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価委員会による外部評価の評価(H33年度末までの事業について)</li> <li>・開催研修会後のアンケート調査集積・分析→講義・セミナー内容の修正</li> <li>・e-learning配信継続</li> <li>・ライブラリー配信継続</li> </ul>
定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーの上記目標人数修了者を輩出し、プログラム修了者を通じたセミナー内容の実社会への浸透と、リーダーとなる実践的な災害医療ロジスティクス専門家の排出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーの上記目標人数修了者を輩出し、プログラム修了者を通じたセミナー内容の実社会への浸透と、リーダーとなる実践的な災害医療ロジスティクス専門家の排出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーの上記目標人数修了者を輩出し、プログラム修了者を通じたセミナー内容の実社会への浸透と、リーダーとなる実践的な災害医療ロジスティクス専門家の排出</li> <li>・ライブラリの利用できる環境の提供(20コンテンツ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーの上記目標人数修了者を輩出し、プログラム修了者を通じたセミナー内容の実社会への浸透と、リーダーとなる実践的な災害医療ロジスティクス専門家の排出</li> <li>・ライブラリの利用できる環境の提供(通算40コンテンツ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各セミナーの上記目標人数修了者を輩出し、プログラム修了者を通じたセミナー内容の実社会への浸透と、リーダーとなる実践的な災害医療ロジスティクス専門家の排出</li> <li>・ライブラリの利用できる環境の提供(通算40コンテンツ)</li> </ul>
アウトカム (成果、効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正による学習コンテンツの精練</li> <li>・e-learning配信可能な学習環境の確立により、全国各地での災害医療学習が可能な環境の整備、全国地域への災害医療教育の普及が期待される。</li> <li>・実施事業(活動報告)をHPで公開することによる全国への周知・関心の醸成</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正による学習コンテンツの精練</li> <li>・実施事業(活動報告)をHPで公開することによる全国への周知・関心の醸成</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正による学習コンテンツの精練</li> <li>・e-learning配信可能な学習環境の確立</li> <li>・実施事業(活動報告)をHPで公開することによる全国への周知・関心の醸成</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・ライブラリの共有による教育内容の全国標準化</li> <li>・災害医療ロジスティクス専門家(履修生・大学院修士)の輩出により、災害医療現場におけるロジスティクスの発展及び教育・研究人材の輩出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正による学習コンテンツの精練</li> <li>・e-learning配信可能な学習環境の確立</li> <li>・実施事業(活動報告)をHPで公開することによる全国への周知・関心の醸成</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・ライブラリの共有による教育内容の全国標準化</li> <li>・災害医療ロジスティクス専門家(履修生・大学院修士)の輩出により、災害医療現場におけるロジスティクスの発展及び教育・研究人材の輩出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート・セミナーでの意見による事業内容へのフィードバック・修正による学習コンテンツの精練</li> <li>・e-learning配信可能な学習環境の確立</li> <li>・実施事業(活動報告)をHPで公開することによる全国への周知・関心の醸成</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・災害医療ロジスティクスの教育者間の協力体制の強化・人事交流(顔の見える関係)による全国普及へのネットワーク構築</li> <li>・ライブラリの共有による教育内容の全国標準化</li> <li>・災害医療ロジスティクス専門家(履修生・大学院修士)の輩出により、災害医療現場におけるロジスティクスの発展及び教育・研究人材の輩出</li> </ul>

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業の実施に当たっては、学長・病院長等のリーダーシップの下、責任体制を明確にした上で全学的な実施体制で行うこと。また、事業期間終了後も各大学において、長期的な展望に基づく具体的な事業継続の方針・考え方について検討し、自立化した事業体制を構築すること。	本事業は学長のリーダーシップのもとで、新潟大学第三期中期計画の一つとして実施。さらに医学部長を長とする事業実施主体となる医学部災害医療教育センター運営委員会および、具体的な事業細目について協議する専門委員会を設置して、事業の実施を明確な指揮命令系統の元で実施。学長を中心とした意思決定機関である役員会において事業実施状況を報告し、新潟大学の第三期中期計画と合致させた全学体制で事業実施。大学の継続的な予算の配分により、最終年度以降の事業継続を前提に推進する体制により実施する。
②	客観的なアウトプット、アウトカムを年度毎に明確にした上で、自己点検・評価や外部評価を実施し、事業の改善を行いつつ、全国の模範となる体系的な教育プログラムを展開すること。その際、本事業における多職種養成等の特性を踏まえ、履修する学生や医療従事者等が受講しやすい環境整備に配慮するとともに、修了者のキャリアパス形成につながる体制を構築すること。	学内の運営委員会による自己点検・評価に併せ、学外有識者による外部評価委員会を設置し、委員長を中心とした評価を実施。これら学内外の評価をもとにPDCAサイクルによる事業の改善と発展を目指す。学習は地元でのセミナーの一部を単位認定し、またe-learning配信により受講生・履修生の生活環境・ライフスタイルにあった履修が可能な体制で実施。さらに、セミナー修了証やプロバイダーなどはもちろんのこと、履修証明プログラム・医学修士という明確なキャリアパス形成により社会人学習を支援する。
③	事業の実施状況や成果等を可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。また、他大学・大学病院の参考に資するよう、特色ある先進的な取組やモデルとなる取組について、実現するためのノウハウ、留意点等についても積極的に発信するなど、成果等の普及・展開に努めること	HPおよびSNSを通じた情報発信と、日本災害医学会のHPやセミナーシステムと連動した広報を実施。コンテンツの一部はライブラリ化して共用できる体制整備により、モデル事業として成果物の普及に寄与する。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(充実を要する点)	対応方針
ロジスティクスにおいて大きな課題となる、地域コミュニティ、行政との連携についての教育プログラムが見えない点について、明確化が望まれる。	教育プログラムにおける2本の柱となる1)e-learning 2)セミナー いずれにおいても地域コミュニティ、行政との連携について具体的な内容を盛り込み、特にセミナーにおいては、様々なコミュニティや行政担当者に特化したロジスティクスを内容とし、かつそれぞれの職域に出張セミナーとして普及すると同時に、現場のニーズや課題を集積して、プログラムに取り込んでゆく。
5つのサブスペシャリティとロジスティクスとをどのように関連付けるのか明確化が望まれる。	ロジスティクスのGSCA(Command&Control Safety Communication Assessment)について、5つのサブスペシャリティに特化した特殊(より具体的・専門的)な内容と、共通で持つべき知識や技術を、全体のプログラム構成の中で明確化して、履修生に「それぞれの関連」が理解できるような全体の構成とする。